【授業科目】慢性看護学演習Ⅱ(支援技術)　Advanced Seminar of Chronic Illness Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大久保 仁司	1年次 後　期	選　択	2	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	慢性的な健康問題をもつ患者の疾患に関する研究論文を検索し、慢性領域における患者・家族が抱える問題・課題や、看護実践の場における問題・課題を明確にし、看護実践方法を探求する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 慢性的な健康問題をもつ患者の疾患・治療・検査について研究論文を検索し、説明することができる。 ② 慢性的な健康問題をもつ患者・家族が抱える問題について研究論文を検索し、明確にすることができる。 ③ 慢性的な健康問題をもつ患者・家族における倫理的課題が理解でき、対処方法を述べることができる。 ④ 他職種との連携・調整を促進するために必要な能力について説明できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前学習は各回に関係する文献を読んでおく（2 時間)。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける（2 時間)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回)（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／１回)（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　慢性疾患の動向と現状 第 2, 3 回　慢性疾患（糖尿病）をもつ患者と家族への看護　1 , 2 第 4, 5 回　慢性疾患（腎臓病）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 6, 7 回　慢性疾患（心疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 8, 9 回　慢性疾患（呼吸器疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 10, 11 回　慢性疾患（脳血管疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 12, 13 回　慢性疾患（がん疾患）をもつ患者と家族への看護　1, 2 第 14 回　がん看護の動向と現状 第 15, 16 回　化学療法における患者・家族への看護 第 17, 18 回　放射線療法における患者・家族への看護 第 19, 20 回　遺伝子治療における患者・家族への看護 第 21, 22 回　ボディーイメージに関する看護援助 第 23, 24 回　意思決定支援に関する課題と看護援助 第 25, 26 回　就労支援に関する課題と看護援助 第 27, 28 回　地域連携システムの現状と今後の課題 第 29, 30 回　各自の研究課題との関連	全て 大久保
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。
教科書	教科書の指定はしない。 適宜，資料配付や文献を紹介する。
参考書等	適宜、講義内で紹介する。